

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

特273
635

川本逸童著 (六版)

尺八獨案肉 下編

東京尺八講習會發行

始



特273
635



川本逸童著 (六版)

尺八獨案内編

大正
5. 9. 4
内交

大正
5. 9. 4
内

尺八獨案内

下編

目次

尺八吹奏及運指練習の順序……………	一頁
音符運指練習……………	自二頁…至六頁
附同音接續練習	
緩急記號(間拍子)練習……………	自七頁…至十二頁
練習用曲譜……………	自十三頁…至廿一頁

曲目は次頁にあり

尺八獨案内下編

川本逸童著

○尺八吹奏及運指練習の順序

尺八獨案内上編に於て詳説したる如く、第一には(上編六)に
 ある音符を記憶し、次に(同廿二)にある諸種の記號と、(同十七)に
 間拍子法の説明とを對照して音譜の記し方を了
 解する時は如何なる難曲と雖も曲譜によつて自在に吹
 奏する事は得るものなり、然れども初めより難曲を吹奏
 するは容易ならざるに、簡易なる曲より漸次に練習
 するを良策とす以下項を分ちて音符の記號の運指吹奏
 練習譜を掲げたるにより獨習者は順次に習熟すべし

目 曲

君が代
 姫まが
 數へま
 さく歌
 梅が枝
 金比羅船
 十日子
 春は花
 弓は幡
 黒八髪

チとチ、 ロツレ、 ツレチ、 レチと、 チとイ、
ウリイ、 リロツ、 ツレロ、

○練習の五(音符運指)

裏孔	五	四	三	二	一	尺八 音符
	○	○	○	○	○	ハ
	●	○	●	●	○	ヲ
	●	●	●	●	●	ロ

初め(二四五)の孔を開きて(ハ)なり「乙」にて吹くべし
 (ヲ)の時(ハ)の指の儘にて軽く二の孔一ツ打つ
 (ロ)は「甲」の(ロ)なり三音符接続して一個の音符とな
 るものなり
 而してハヲと記しあるにより(ハ)は長く引て(ハ)と
 急速に且軽く動かすべし
 外曲の時に限り(ヲ)は裏孔にて軽く打ちてもよし

ハ

(ロ)の力ある音を出さんが爲めに(ハ)二四五の孔を開き息を吹込と同時に全部の孔
 を塞ぎて(ロ)を(甲)音にて吹くべし

以下練習の廿二迄は間拍子を打ちて唱譜の練習をなし了て吹奏を試むべし

○練習の六

(半拍子)

ロツレチ、 リロツレ、 チウロツ、 ムチリロ、 ツレウリ
 ロウロツ、 ムツレチ、 リウリロ、 ツロツレ、 チレチリ
 ロツレツ、 ムチレチ、 リロツロ、 ツレチレ、 ウリウリ

○練習の七

(二拍子)

ロツレチ、 リロツレ、 チリロツ、 レチリロ、 ツレウリ
 ロリロツ、 レツレチ、 リウリロ、 ツロツレ、 チレチリ
 ロツレツ、 レチレチ、 リロツロ、 ツレチレ、 ウリウリ

○練習の八

(二拍子と一拍子)

ロツク	クレツ	クリク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク

○練習の九

(表一拍子と半拍子)

クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク

○練習の十

(裏一拍子と半拍子)

クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク

○練習の十一

(半拍子と同音接続)

クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク

クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク

○練習の十二

(四半拍子、同音接続)

クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク

○練習の十三



(八半拍子、同音接続)

クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク
クツク	クツク	クツク	クツク


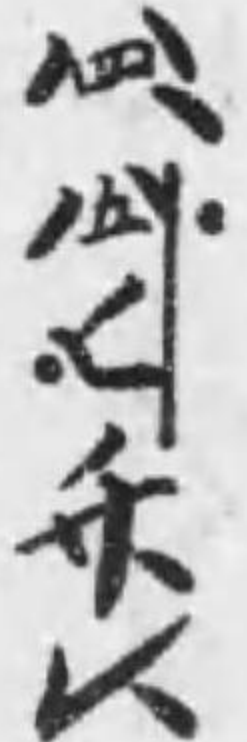






○練習の十四

(二拍子の「ハツム」)

○練習の二十一

○練習の二十二

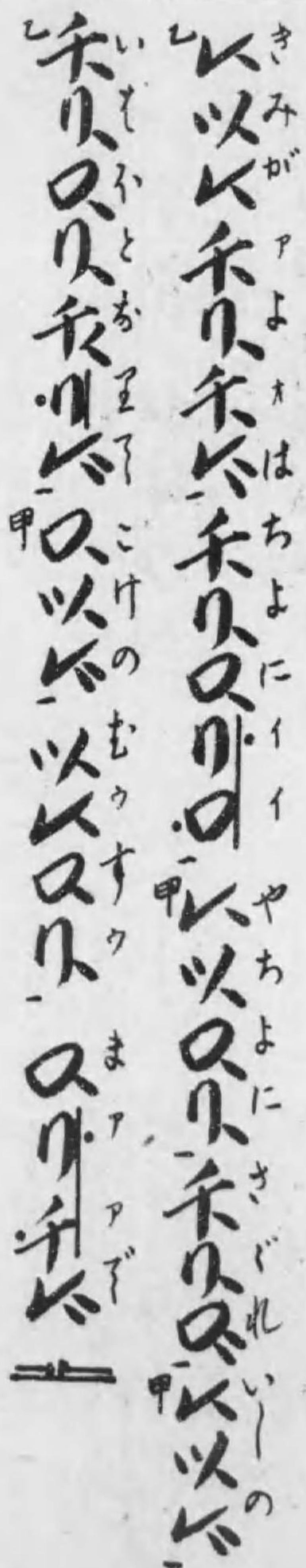
音符間拍子應用

練習曲譜

數度唱譜を繰返したる後運指を練習し了て吹奏を試むべし

君の代

きみがアよオはちよにイイヤあよにさざれいーの
いそふとかまうこけのむうすクまアアア
甲



姫まの

送しひめまつしこまつ

三弦(三上り) 尺八音符の

〇千〇に合す

みどまのいろませ

甲 〇千〇に

〇千〇に合す

〇千〇に合す

教一歌

三弦(三上り) 尺八音符の

〇千〇に合す

〇千〇に合す

みかいておきめてよきこたせ

〇千〇に合す

ぎくさ

三弦(三下り) 尺八音符の

〇千〇に合す

〇千〇に合す

〇千〇に合す

明治四十五年二月廿五日印刷
全 年三月二日發行
大正五年九月二日六版發行

定價金貳拾錢

著作
所有

不許複製

東京市芝區琴平町二番地
川本逸童

發行所
見崎鍵次郎

東京市芝區琴平町二番地

東京尺八講習會

電話新橋二三三六番
振替口座東京壹四壹壹五番

賣捌所全國各書店及樂器店

◎此分は會員諸君に限り郵送料を要せず ◎此外に會員用の曲譜目錄あり

大正五年八月改正 ○東京尺八講習會發行書目錄

新刊及品切は毎月雜誌「尺八界」の廣告によりて知らるべし

川本逸童著
尺八獨案内 上編

新式間拍子解説

▲新式間拍子記號法を詳細に知らんとする人は本會發行の曲譜にて尺八を吹奏せんとする人は是非本書を購求せられよ
▲尺八の吹方より一々挿曲を加へて懇切に説明した間拍子記號法は特に詳細なる圖式となりしは初學者に最も解し易き獨習書なり

川本逸童著

尺八獨案内 下編

▲上編に説明したる新式間拍子を應用して吹奏し易き曲子種を載せ外に練習譜を掲げ専ら初心者の獨習用として發行したるもの曲譜は皆石版二度刷朱墨入りなり

俗曲之部

川本逸童著

尺八がア追分ぶし

▲和洋樂譜を對照して記したるにより尺八は勿論洋樂一切に適用する事を得る珍書なり

川本逸童著

松前分ぶし

▲「北海道に於て作譜したるものなり」
▲注文の際松前道分と必ず記載せらるべし

鶴の巢籠り

▲「胡弓の強法を尺八に移したるもの」

川本逸童著

尺八雜曲集

▲曲目 ▲追分ぶし ▲磯前 ▲かつば ▲春南 ▲さのさぶし ▲ラッパぶし ▲二上り ▲若旬 ▲徒歩行進

水野部 遺著

尺八早まなび

▲曲目 ▲追分節を初め ▲唱歌十四種 ▲軍歌 ▲五種 ▲俗曲 ▲梅が枝 ▲歌へ歌 ▲いそ ▲松 ▲かづね ▲東雲節 ▲高い山 ▲獅子 ▲鶴籠

極道 醉人著

尺八はうた集(一)

▲曲目 ▲春南 ▲別所 ▲梅にも ▲わがり ▲茶 ▲いたこ ▲川 ▲伊の國 ▲宇

尺八はうた集(二)

▲曲目 ▲いよぶし ▲竹になりたや ▲大津繪 ▲夕ぐれ ▲秋の夜 ▲櫻見よ ▲淡く ▲も ▲京の四季

川本逸童著

尺八はうた集(三)

▲曲目 ▲船さび ▲雪は巴 ▲産の車 ▲川竹 ▲ひなぶり ▲一夜あくれは ▲五萬石 ▲うわさごうし

尺八はうた集(四)

▲曲目 ▲從の川 ▲浮世捨て ▲立山ぶし ▲結核 ▲おり ▲行 ▲朝 ▲り ▲陽氣 ▲あらし ▲の ▲や ▲さ ▲き ▲し

長	越後獅子(長唄)	長	潮	長	道成寺	長	元祿花見踊
長	勸進帳	長	秋の色種	長	吾妻八景	長	安宅の松
長	吉原雀	長	舌出シ三番叟				

川本逸童先生新作尺八本曲

八尺今様本曲
拍子朱點附

里神樂	二部合奏
岸うつ波	三部合奏
曙	二部合奏

○川本逸童先生が數年前より苦心の結果創作せられたる曲にして各曲共其趣を異にしたる近來の大作なり
○從來會員に限り各一曲禮金半圓づゝにて頒布したるものなれども普及の爲め本月中一般に頒布す
但一冊に付金五十錢送附せらるべし

新刊續々發行

○此外ニ會員用尺八譜數百曲アリ

○會則ハ郵券三錢封入御申越アレ進呈ス

終

